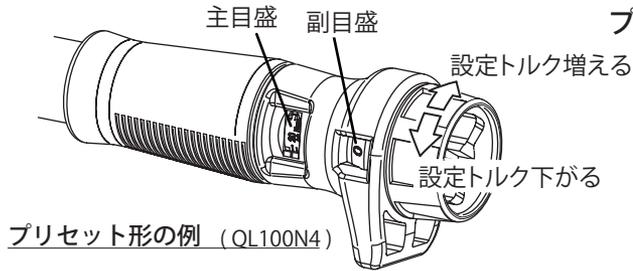


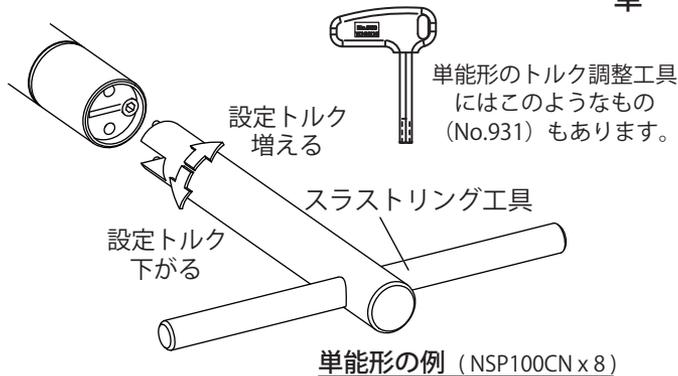
# プリセット形・単能形・プリロック形トルクレンチの違い

クリック式トルクレンチ本体のトルク目盛の有無で分かれ、トルクセット方法が異なります。



**プリセット形：** 代表的なクリック式トルクレンチ「QL」のようにトルクレンチにトルク目盛があり、設定トルクに達すると締付け完了を知らせる「カチン！」の増減を簡単に手元で変えられます。ただし便利な反面、不用意に設定トルクを変えられてしまう場合があります。

代表機種：QL / CL / DQL / MTQL / QLLS / MQL など。

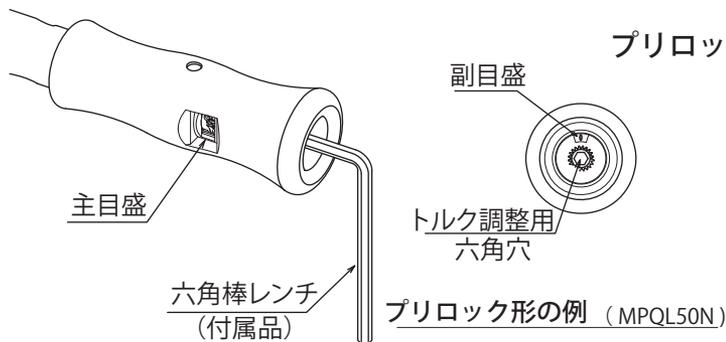


**単能形：** トルクレンチにトルク目盛が無く、ご注文時に設定トルクをご指定するか、管理者が「トルクレンチテスタ」で「カチン！」のトルクを調整していただくタイプです。

※新品ご注文時には、東日が無料で設定して出荷いたします。

生産ライン等で同じボルト（締付けトルク）の繰り返し締付け作業で多用され、シンプルでローコストです。作業途中に不用意に設定トルクを変更されてしまう可能性が減りますが、設定トルクを変更するには、専用工具とテスタが必要になります。

代表機種：SP / RSP / QSP / CSP / QSPCA / MQSP など。



**プリロック形：** トルクレンチにトルク目盛がありますが設定トルクを変えるには工具が必要です。締付け作業中の不用意な設定トルクの変更がされ難く、ヒューマンエラー対策に有効であり、かつトルク調整はテスタが無くても行える、プリセット形と単能形の利点を取り入れたトルクレンチです。

代表機種：PQL / PCL / MPQL / PQLLS / PQLZ など。